



【①～⑥ 8月4日に開催された中学生地域交流ゲートボール大会】
 ①青少年指導員の皆さん②皆で応援③子どもも大人もボールの行方を真剣に追います④対戦結果を報告し合う指導員たち⑤子どもたちの活躍に拍手を送ります⑥表彰式
 【⑦～⑩ 7月13日(土)～15日(月)に開催されたジュニアリーダーサマーキャンプ】⑦皆で力を合わせて野外炊事に挑戦⑧コンロはありません。薪とマッチで火をおこします⑨自分たちで作ったご飯は格別です



特集 青少年指導員

地域で育む子どもの三ライ

子どもたちがたくましく心豊かに育つためには、保護者や学校の先生だけでなく、地域のひととの関わりが欠かせません。
 さまざまな体験活動とおして、未来を担う子どもたちの心を育て、子どもたちと地域をつなぐ青少年指導員の活動を紹介します。

問 教育総務課 ☎82-5221

地域の子どもを地域で育てる

「子に過ぎたる宝なし」ということわざがあるとおり、子どもは家族や地域、そして町にとっての宝です。
 子どもは、家族や学校はもちろんのこと、地域の人たちにも見守られて成長します。地域への愛着を持つ子どもたちが将来、この町を支え、活躍する人材となるよう、皆で育てていくことが大切です。

子どもと地域をつなぐ
 青少年指導員

町には、未来を担う子どもたちの心を育て、子どもたちと地域をつなぐパイプ役である「開成町青少年指導員」の皆さんがいます(以下、指導員)。

指導員は、地域ぐるみで子どもたちを育成する推進役として、各地区の自治会から推薦され、神奈川県知事と町教育委員会から委嘱されています。

現在、指導員は各地区に1～2人おり、町全体で14人が活躍しています。指導員の皆さんは、自然体験など様々な経験を通して、子どもたちが多くの人と交流する機会を提供し、子どもたちの自ら学ぶ考える力や、豊かな人間性と社会性を育むことなどを目的に活動しています。

新たな出会いをつくり、
 地域の絆を深める

指導員の代表的な活動のジュニアリーダーサマーキャンプは、小学5年生から中学3年生までの子どもたちが参加します。異なる学校や学年の人たちと力を合わせて、野外炊事やウォークラリーに挑戦することで、子ども同士のつながりや地域コミュニティを作るきっかけにもなっています。(写真⑦～⑩)

また、各地区の青少年健全育成会と町ゲートボール連合の皆さんの協力のもと、8月に中学生地域交流ゲートボール大会を開催しています。地区対抗形式で開催され、中学生と地域の大人が優勝を目指して一致団結します。子どもたちと地域の大人が一緒に喜びや悔しさを共感し合うなど、地域の絆づくりの機会にもなっています。(写真①～⑥)

こうした新しい出会いづくりや地域の絆を深めている指導員の活動内容をインタビューを通じてご紹介します。



文命中学校3年生
 プライズ・ジェナさん
 (上延沢)

世代を超えた交流ができる

ジュニアリーダーサマーキャンプは、参加している小学5年生から中学3年生まで、上下関係なく仲良くなれます。キャンプが終わってからも、街中で会うと声をかけてくれる子がいて嬉しいです。
 青少年指導員の方々も、皆さんフレンドリーで親しみやすいです。

家族や近所の方以外の大人と知り合いになれる良い機会でした。今年で最後の参加となり、寂しいですが、大人になったら青少年指導員になって、町の子どもたちと仲良くなりたいです！

ジュニアリーダーサマーキャンプ
 参加者の声

青少年指導員の活動内容 年間を通じて、様々な活動をしています。主な活動をご紹介します。

